



#### 第26回水道施設に関する規格専門委員会（10月8日）

水道用ソフトシール仕切弁（JWWA B 120）の規格改正について、日本水道協会会議室にて第1回目の委員会を開催した。

第1回目は、耐塩素性弁体ゴムの耐久試験とその評価方法などについて審議した。

#### 第2回、第3回 ISO24500シリーズ JIS 原案作成委員会 上水道分科会

上下水道サービスの国際規格である ISO24500（飲料水及び下水サービスに関する活動）シリーズを JIS 規格にするため第2回上水道分科会を10月7日に、第3回を11月10日に日本水道協会会議室にて開催した。

#### 平成22年度漏水防止講座（第3回：10月20日～22日）

水道事業及び賛助会員の漏水防止に従事する技術職員の方々62名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターにおいて研修会を実施した。第1日目及び第2日目に「漏水防止概論」、「漏水防止の現状と課題、これからの漏水防止」、「漏水防止作業」、「漏水探査技術」について講義があり、第3日目には、漏水防止関連機器を使つての現地研修を行った。

#### 第14回営業業務専門委員会（10月25日）

はじめに、報告事項「法制審議会における民法（債権関係）改正検討の動向について」事務局より報告があった後、議題「営業業務マニュアルの改訂について」審議を行った。

続いて、情報交換事項①「検針拒否箇所の対応について」②「給水停止にかかる停水基準及び開栓基準について」③「漏水減免に伴う取扱いについて」それぞれ意見交換を行った。



#### 第51回水道 GLP 認定委員会（10月26日）

水道 GLP 認定について、更新検査機関として名古屋市上下水道局（認定番号：JWWA-GLP015）が、審議され決定された。

#### 第891回会誌編集委員会（10月27日）

本誌11月号、12月号の編集方針、投稿原稿の審査並びに水道協会雑誌の編集企画について審議した。

#### 平成22年度水道技術管理者研修会（10月28日～29日）

173名の参加を得て、「水道事業の現状と技術的課題」「水道技術の最新動向と次世代に向けた更新計画」「浄水技術の現状と将来展望」について研修を実施した。

なお、本研修会では毎年特別講師として各界の著名な方に講演を依頼しており、今回は作家の井沢元彦氏が「歴史を動かした人物の人材活用術」と題して講演を行った。



#### 第153回水質試験方法等調査専門委員会（11月1日）

クリプトスポリジウム等の指標菌の一つである嫌気性芽胞菌の検査に用いる培地の組成について、新処方のもので従来法と違いがないことを確認した。一方、嫌気性芽胞菌の検査における適切な検水量については、今後の検討課題とした。また、現在の告示法における当面の課題として、機器分析における検量線の範囲、ハロ酢酸の検査で使用している溶媒、水銀の検査で使用する試薬等を挙げ、これらについて早急に検討の上、国の水道水質検査法検討会へ提示することを確認した。



#### 第147回水道技術管理者協議会（11月4日・5日 於：金沢市）

金沢市水道事業の概要について説明を受けた後に、標準仕様書・積算要領案の概要、国際水ビジネスと水道事業体、新基準水道メータ（JIS規格化）の導入時期等アンケート結果などについての報告を行い、それぞれ意見交換を行った。

第2日目は、金沢市企業局末浄水場の視察を行った。



#### 第228回衛生常設調査委員会（11月5日）

水質検査の信頼性確保策として、①特記仕様書及びチェックリストについて、「水質検査精度に関する調査専門委員会」（略称：検査セイド提案チーム）から、国が設置している「水質検査の信頼性確保に関する取組検討会」へ提示したこと、②年度内にそれらの解説編等を作成すること、③水質検査機関の検査結果の信頼性を高めるための方策の一つとして、水道 GLP 認定バッチを作成したこと等を報告した。また、上水試験方法改訂版については、年内発行に向けて原稿の最終チェックを進めていくことを確認した。



#### 水道 GLP 認定証授与式（11月8日）

水道 GLP 認定委員会で認定（福井市企業局）及び認定更新（名古屋市上下水道局）が決定した下記の水質検査機関の認定証授与式を日本水道協会専務理事室において行った。



福井市企業局  
(申請番号：JWWA-GLP067)



名古屋市上下水道局  
(認定番号：JWWA-GLP015)

#### 平成22年度浄水場等設備技術実務研修会（第5回：11月9日～12日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々15名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに設備機器の保守・管理の実務について、研修を実施した。

#### 第647回抄録委員会

本誌2月号に掲載する海外文献の抄録内容及び海外文献目録の和文題名について審議した。

<お詫び>

平成22年9月発行の「水道施設維持管理等業務委託積算要領案－管路等維持管理業務編－」につきまして、記載内容に一部誤りがございました。ご迷惑をおかけしましたことをお詫びし、訂正させていただきます。

頁	訂正箇所	誤	正
54	表-3.7.22 戸別音聴調査(3)の標準作業量	456 戸／日	475 戸／日
59	表-3.7.34 漏水確認調査(1)の標準作業量	5.4km／日	12.7km／日
59	表-3.7.34 漏水確認調査(3)の標準作業量	10.6km／日	5.4km／日

(社)日本水道協会工務部技術課  
安部、梨木、後藤  
TEL：03-3264-2496  
E-mail: sekisan@jwwa.or.jp